





2001年12月

第 2.0 版



第1章 はじめに	1– 1
(1−1) 製品概要	1- 1
• (1-2) 添付品	1- 2
• (1-3) ハードウェア仕様	1-3
• (1-3-1) コネクタピンアサイン	1-3
(1-3-2)入出力回路	1- 5
(1-3-3) RS485/RS422 について	1-6
• (1-3-4) レジスタセット	1-7
● (1-3-5)終端抵抗について	1-8
• 第2章 Windows95/98/Me セットアップ	··· 2- 1
(2-1) PC-AT での Windows95 ヤットアップ	 2 1
• $(2-2)$ PC-98 \mathcal{CO} Windows 95 \mathcal{H} \mathcal{H} \mathcal{P} \mathcal{P}	_ · 2- 7
 (2-3) Windows98 セットアップ 	2-14
• $(2-4)$ Windows Me $\pm \psi h \mathcal{P} \psi \mathcal{J}$	2 1 1 2–17
(2-5) アンインストール方法	2 17
● (2-6) Visual C/C++ サンプルプログラム	2 20
	2 21
• 第3章 Windows2000/XP セットアップ	3- 1
(3-1) Windows2000 セットアップ	3- 1
(3-2) WindowsXP セットアップ	3-3
● (3-3) 通信ポート番号の確認	3-5
● (3-4) PC カード設定内容の確認	3-6
(3-5) COM ポート番号の変更	3-7
(3-6) アンインストール方法	3-8
	00
● 第4章 WindowsNT40について	4 –1
(4-1) WindowsNT40での使用方法	4-2
	• -
•	
※ MS-DOS/Windows3.1 C使用されるお客様は、添付 FD の	
PDF ファイルをご参照ください。	

第1章 はじめに

(1-1) 製品概要

REX-5057V は、PC CARD STANDARD TYPE I 規格に準拠した RS422/485 レベ ルのシリアル通信 PC カードです。シリアルコントローラに NS16550UART を採用し、 ラインドライバ・レシーバ SN751177(TI)を搭載することにより、EIA 規格 RS-485 に適 合した高速・長距離伝送を実現致します。添付のケーブルを取り替えることにより RS485 または RS422 のどちらでも使用することができます。

MS-DOS 用マルチポート通信ドライバー(以下 MCD と記述)と MCD API ライブラリ が添付されています。DOS/V のみでなく、PC-98 環境でも RS422/485 PC カードを 使った通信アプリケーションの構築をサポート致しました。Windows では DOS/V・ PC-98 共に、標準で組み込まれているドライバをお使いください。

項目	内容
入出カレベル	RS-422/RS485 レベル
入出カポート数	1 ポート
シリアルコントローラ	ナショナルセミコンダクタ PC16550D UART With FIFO
ドライバ・レシーバ	TEXAS INSTRUMENTS SN751177ドライバ・レシーバ
	同相出力電圧範囲: Voc=−7V~+12V
	ドライバ出力電流:Io=±60mA
終端抵抗	110Ω内蔵(添付コネクタ内)
通信方式	非同期通信
通信速度	300/600/1,200/2,400/4,800/9,600/19,200/38,400/
	57,600/115,200
	(注意)最大通信速度はパソコンの仕様に依存します。
伝送距離	1200m 以内
通信パラメータ	➡ ビット長:7/8 ➡ スタートビット:1
	➡ ストップビット:1/1.5/2 ➡ パリティ:偶数/奇数/無し
入出カコネクタ	D-SUB15ピンメスコネクタ(ケーブル長:約50cm)
	(参考)
	PC カード側コネクタ:NX-15P ヒロセ電機製相当使用

風ハードウェア仕様

ロソフトウェア仕様

項目	内容
カードサービス版イネーブラ	DOS/V版・PC-98版
ポイントイネーブラ	DOS/V版
MCD 通信ドライバ	DOS/V版·PC-98版
MS-DOS 用 MCD 通信ライブラリ	DOS/V•PC-98 版(Microsoft Visual C 対応)

(1-2) 付属品

製品には PC カードと下記付属品が添付されています。ご使用前にご確認願いま

☑RS422 コネクタケーブル(D-SUB15 ピンメス型)

☑RS485 コネクタケーブル(D-SUB15 ピンメス型)

☑ドライバー・ライブラリディスク 1.44MB 3.5"

☑ユーザーズマニュアル

☑ご愛用者登録はがき・保証書

●**注意.... ●**

ご愛用者カードは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上、必ずご返送下 さい。ご返送頂けない場合、弊社からのバージョンアップ等のサポートサービス は受けられなくなりますのでご注意下さい。



注)製品添付ケーブルの D-SUB15PIN コネクタは上記写真と形状が異なります。

(1-3) ハードウェア仕様

(1-3-1) コネクタピンアサイン

●**注意.... ●**

RS422/485 規格では、後述のピンアサイン信号名に記載しているような±極性の取り決めはありません。弊社ではファコム社の NC 機器との接続を考えてこの極性を示しておりますが、接続する相手機器によっては±の極性を逆にしないと正常に通信できない場合がありますのでご注意ください。

⇒ RS422 コネクタピンアサイン

各信号のコネクタピンアサイン及び機能は 下表のようになります。コネクタは JIS で定め られている DB-15P(D-SUB15 ピン)を採用しま した。

RS422 レベルの場合には、RTS/CTS 信号 は接続基板内部で折り返されます。そのため 外部には、RTS/CTS 信号は出力されません。



ピン番	信号名	略称	DTE一外部	説明
1	NC	ノーコネクション	_	_
2	SD+ (TXD+)	送信データ	₽	データの送信
3	NC	ノーコネクション	_	_
4	RD+ (RXD+)	受信データ	¢	データの受信
5	DR+ (DSR+)	データセットレディ	¢	使用可能であることを通知
6	NC	ノーコネクション	_	_
7	ER+ (DTR+)	端末レディ	⇒	使用可能であることを通知
8	SG	信号用接地	—	SD/RD 共通のアース
9	SD- (TXD-)	送信データ	₽	データの送信
10	NC	ノーコネクション	—	_
11	RD- (RXD-)	受信データ	\Diamond	データの受信
12	DR- (DSR-)	データセットレディ	\Diamond	使用可能であることを通知
13	NC	ノーコネクション	_	-
14	ER- (DTR-)	端末レディ	⇒	使用可能であることを通知
15	NC	ノーコネクション	_	_

➡ RS485 コネクタピンアサイン

各信号のコネクタピンアサイン及び機能は 下表のようになります。コネクタは JIS で定 められている DB-15P(D-SUB15 ピン)を採用 しました。

RS485レベルの場合には、RTS/CTS 信号 は接続基板内部で折り返され、また RTS 信 号により、送信バッファ(TXD 信号)のイネー ブルを行います。そのため外部には、 RTS/CTS 信号は出力されません。



また、DTR/DSR 信号は接続基板内部で折り返され、また DTR 信号により、受信バッファ(RXD 信号)のイネーブルを行います。そのため外部には、DTR/DSR 信号は出 力されません。

ピン番	信号名	略称	DTE一外部	説明
1	NC	ノーコネクション	—	_
2	SD+ (TXD+)	送信データ	⇒	データの送信
3	NC	ノーコネクション	—	_
4	RD+ (RXD+)	受信データ	\Diamond	データの受信
5	NC	ノーコネクション	—	-
6	NC	ノーコネクション	—	_
7	NC	ノーコネクション	—	_
8	SG	信号用接地	—	SD/RD 共通のアース
9	SD- (TXD-)	送信データ	⇒	データの送信
10	NC	ノーコネクション	—	_
11	RD- (RXD-)	受信データ	\Diamond	データの受信
12	NC	ノーコネクション	—	_
13	NC	ノーコネクション	—	-
14	NC	ノーコネクション	_	_
15	NC	ノーコネクション	_	_



(1-3-2)入出力回路

➡ 出力回路仕様



➡ 入力回路仕様





➡ RS422/485 信号レベル

	VD<-0.2V	VD>+0.2V
機能論理	OFF	ON
信号論理	マーク(1)	スペース(0)

VD は TXD-/RXD-を基準とした電位差



(1-3-3) RS485/RS422 について

EIA 規格の RS485 及び RS422A は RS232C と異なり、信号の名称・タイミング・ プロトコル・コネクタピン配置に関する定義はなく、ドライバ・レシーバの電 気的特性・ケーブル及び終端抵抗についてのみ定義されています。RS422A は、1 ドライバ・10 レシーバの単一方向のマルチドロップ方式で規定されています。

これに対し RS485 は、32 ドライバ・32 レシーバの双方向のマルチドロップ形 式でパーティライン構成として規定されています。RS485 及び RS422A の電気的 特性は下表のようになっています。

項目		RS485	RS422A	
動作モード		平衡型	平衡型	
接続可能台数		32 ドライバ	1 ドライバ	
		32 レシーバ	10 レシーバ	
最大ケーブル長		1200m	1200m	
最大伝送速度	12m	10Mbit/s	10Mbit/s	
	120m	1Mbit/s	1Mbit/s	
	1200m	90Kbit/s	90Kbit/s	
最大同相電圧		+ 12V	+ 6V	
		- 7V	- 0.25V	
ドライバ出力電圧	負荷時	±1.5V	± 2V	
ドライバ負荷抵抗		54	100	
ドライバ出力抵抗	パ ワー ON	±100µA(Max)	規定無し	
(ハイインピーダンス状態) パワー OFF		- 7V Vcom 12V	± 100 µ A(Max)	
			-0.25V Vcom 6V	
レシーバ同相入力電圧範囲		- 12V から 12V	- 7V から 7V	
レシーバ入力感度		± 200mV	± 200mV	
レシーバ入力抵抗		> 12K	> 4K	

RS485 による1対1双方向伝送回路を下図に示します。REX-5057V は受信ラインに終端抵抗 R_T(110)を内蔵しています。波線で囲まれた部分が本 PC カード及びコネクタ部分に相当します。REX-5057V を2枚以上使用して RS485 によるパーティラインを構成する場合は、3枚目以降のカードの終端抵抗を取り外す必要がありますのでご注意願います。



(1-3-4) レジスタセット

シリアルコントローラに NS16550UART を搭載しております。レジスタセット一覧表 を下に示します。なお、詳細につきましては、 NS16550UART 等のデータシートを参 照してください。

Bit	Register Address											
No	0 DLAB=0	0 DLAB=0	1 DLAB=0	2	2	3	4	5	6	7	0 DLAB=1	1 DLAB=1
	Receiver Buffer Register	Transmitter Holding Register	Interrupt Enable Register	Interrupt Ident. Register	FIFO Control Register	Line Control Register	MODEM Control Register	Line Status Register	MODEM Status Register	Scratch Pad Register	Divisor Latch	Divisor Latch
	R Only	W Only		R Only	W Only						(LSB)	(MSB)
	RBR	THR	IER	IIR	FCR	LCR	MCR	LSR	MSR	SCR	DLL	DLM
0	Data Bit 0 注 1)	Data Bit 0	Enable Received Data Available Interrupt (ERBFI)	"0" if Interrupt Pending	Enable	Word Length Select Bit 0 (WLS0)	Data Terminal Ready (DTR)	Data Ready (DR)	Delta Clear to Send (DCTS)	Bit 0	Bit 0	Bit 8
1	Data Bit1	Data Bit1	Enable Transmitter Holding Register Interrupt Empty (ETBEI)	Interrupt ID Bit 0	RCVR FIFO Reset	Word Length Select Bit 1 (WLS1)	Request to Send (RTS)	Overrun Error (OE)	Delta Data Set Ready (DDSR)	Bit 1	Bit 1	Bit 9
2	Data Bit2	Data Bit2	Enable Receiver Line Status Interrupt (ELSI)	Interrupt ID Bit 1	XMIT FIFO Reset	Number of Stop Bits (STB)	Out 1	Parity Error (PE)	Trailing Edge Ring Indicator (TERI)	Bit 2	Bit 2	Bit 10
3	Data Bit3	Data Bit3	Enable MODEM Status Interrupt (EDSSI)	Interrupt ID Bit 2 注 2)	DMA Mode Select	Parity Enable (PEN)	Out 2	Framing Error (FE)	Delta Data Carrier Detect (DDCD)	Bit 3	Bit 3	Bit 11
4	Data Bit4	Data Bit4	0	0	Reserved	Even Parity Select (ESP)	Loop	Break Interrupt (BI)	Clear to Send (CTS)	Bit 4	Bit 4	Bit 12
5	Data Bit5	Data Bit5	0	0	Reserved	Stick Parity	0	Transmitter Holding Register (THRE)	Data Set Ready (DSR)	Bit 5	Bit 5	Bit 13
6	Data Bit6	Data Bit6	0	FIFOs Enabled 注2)	RCVR Trigger (LSB)	Set Break	0	Transmitter Empty (TEMT)	Ring Indicator (RI)	Bit 6	Bit 6	Bit 14
7	Data Bit7	Data Bit7	0	FIFOs Enabled 注2)	RCVR Trigger (MSB)	Divisor Latch Access Bit (DLAB)	0	Error in RCVR FIFO 注2)	Data Carrier Detect (DCD)	Bit 7	Bit 7	Bit 15

注 1)ビット 0 は最下位のビットです。最初にこのビットからシリアル送信または受信が行われます。

2)これらのビットは NS16450 モードで常に"0"になります。

(1-3-5) 終端抵抗について

製品添付ケーブルのコネクタ内に終端抵抗として2組の配線がはんだ付けされています。

終端抵抗を取り出したい場合には、以下の方法で取り外しを行ってください。

① コネクタカバーを開けます



② 2組の配線のはんだ付けを外してください。



③ はんだ付けを外した配線(4本)は、必ず絶縁してください。



Windows95 OSR-2^(注 1)のリリースにより現在 Windows95 のバージョンには、 Windows95 OSR-2 と OSR-2 以前のバージョンがあります。「マイコンピュータ」 を右クリックし「プロパティ」情報を表示することによりどちらのバージョン がインストールされているか調べることができます。システム情報が 「Microsoft Windows95 4.00.950 a」の場合は OSR-2 以前のバージョンになり、 OSR-2 の場合は「Microsoft Windows95 4.00.950 B」となります。ご利用の Windows95 が OSR-2 かそれ以前のバージョンかによりインストールの方法が異 なりますので注意してください。

(注1) OSR-2(OEM Service Release 2)では FAT32、CardBus 等の新しい機能 がサポートされています。

(2-1) PC-AT での Windows95 セットアップ

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC System, Inc. - REX5056V RS232C PC Card」 と表示されますが、問題ありません。

m Windows95 OSR-2 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、ハードウェ アウィザードが起動しま す。これに連動してデバ イスドライバーウィザー ドが起動しドライバーの インストールをすること インストールすることは インストールすることが できません。取りあえず 「次へ」を選択します。

更に、「このデバイス 用のドライバが見つかり ませんでした」という結 果が表示されますが、こ こではインストールしま せんので「完了」を選択 します。





【2】通信ドライバのインストール

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 その他のデバイスとして登録された「RATOC System, Inc.-REX5056V RS232C PC Card」のプロパティを表示します。

ንአታፈወንን ከለንታ
「情報」 デジバイス マネージャ ハートウェア環境 「ハフォーマンス」
 ● 種類別に表示(<u>1</u>) ● 接続別に表示(<u>0</u>)
→ $12t^{2}x^{-\frac{1}{2}}$ → PCMCIA $\frac{1}{2}y_{2}y_{1}$ → $\frac{1}{2}$ → $\frac{1}{2}$
7 [°] ロハ [°] ティ(<u>R</u>) 更新(<u>E</u>) 削除(<u>E</u>) ED刷(<u>N</u>)
 OK キャンセル

ここから「ドライバの更新」を選択し通信ドライバを登録します。



デバイスドライバウィザードが起動したら、「**一覧からドライバを選ぶ**」を 指定し次へ進みます。



ドライバの一覧の中から「ポート(COM & LPT)」を選択し次へ進みます。

デルイス ドライバ ウィザード		
	下の一覧からデバイスの種類を激えてしたへ」す	特してください。
8.3	ネック・ファクフ ハード・ディスク スパローラ フアンタ スロッビー・ディスク エノトローラ 第一号 についた ましゃり 目的パング 時後につけたディングス	
	272. 74月7かかん) アサフラ モデー モニター	-
	(夏5(四) 次へ)	462426

最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「**スタンダードポート**」、モデルは「**通信ポート**」を選択し完了します。

900(X F	>イバウィザード ハートウェアの製造元とモデルを選び、「売了」を切ったするとそのハートウェア用の更新された ドライバガインストールされます。 自動的に更新されたドライバを検出する場合は、「戻る」を押してください。	
製品型元 <mark>(文文)水子</mark> Plewiet	980 탄카1400) 1 Peckard 전가 제품 전체	
	〈 戻る(四) 売了 キャンセル	

【3】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 ドライバのインストールが正常に行われると、その他のデバイスとして登録された REX5056V RS232C PC Card が削除され、ポート(COM & LPT)の中に新しい通信ポートが追加されます。

	<u>୬</u> ステムのフ [°] ロハ [°] ティ	? ×
	情報 デババス マネージャ ハートウェア環境 ハウォーマンス	394 ₆₀
	 種類別に表示(1) C 接続別に表示(2) 	
	 ● ● キーボード ● ● サウンド、ビデオ、およびケームのコントローラ ● ● システム デバイス ● ● その他のデバイス ● ● ディスフ レイティブ ● ● ディスフ レイアクフ % ● ● ディスフ レイアクフ % 	
画面では、「COM3」となっ ておりますが、お客様の環 境により COMx の x の数字 が異なりますのでご注意	日本 つりません つりました。ディスタコントローラ 日本 ジーボート (COM & LPT) ロージ オート (COM & LPT) ロージ オート (COM2) ロージ 通信ホート (COM3) 日本 ジーマウス 日本 モーシー	*
(確認方法は、Page2-20 をご参照ください)		D刷(<u>N</u>) キャンセル

最後に、新しく追加された通信ポートのプロパティの中のリソースタグを開いて、他のデバイスとリソースが競合していないことを確認してください。

通信ボート (COM3)の710パティー			? ×
情報 ボートの設定 ドライバ	97-x		
② 通信标 ¹ -h (COM3)			
リソースの設定(日)			
97-スの種類 設定			
UD 8 N 7 NUX 0388 -	036#		
民宅の登録名(日) 基本語	我定 0008		
話定の変更(2)。	▶ 自動設定∪	1	
競合するデバイス:			
競合なし			*
			-
		ОК	和心也非

■ Windows95 OSR-2 以前のバージョンでのインストール方法

【1】PC カードの挿入

カードを挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。「**一覧から選 ぶ**」を選択し次へ進みます。

新しい	
RATOC System IncRE/5056V RS232C PC Card	
新ししいードウェア用にインストールするドライルを選択してください。	
C Windows (新年の)(节(17 <u>10</u>)	
○ ハートウェアの製造元が提供するドラ(パ/型)	
(1)一覧が迅速の(2)	
○ トライバを化ストールしない(型)	
OK キャンセル へいり710円)	

インストールするハードウェア種類の中から「**ポート(COM / LPT)**」を選択し 次へ進みます。

ハートウェアの種類の違訳	х
インストールするハートウェアの種類を選んでください:	
ネットワーク アダフラ ハート・ディスク コントローラ]
7 9/29 7ロッピー ディスク エントローラ	
目かの検出されたデハイス マウス	L
マルチ ファンヴィン アラフ ラ モデム モニター	
OK 4t/til	

最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「**スタンダードポート**」、モデルは「**通信ポート**」を選択し完了します。

デバイスの選択	×
◆ ポードウェアと一 さし、一般化 デガイルのイル さし、	数するボート (COM / LPT) を外っして、〔0K】を押してくだ がわからないときは、[0K】を押してください。この トール ディスタをお持ちの場合は、[ディスタ使用]を押してくだ
製造元(40):	ξ7 (μ(Q) :
(39)9'++' #'++)	EOP 7'929 #"~h
Hevlett Packard	7'ሃ2ጶ ቱ'-ት
	通信市*ト
	疗"425使用60
	0K \$628\$

【2】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムを開き、デバイスマネージャのタグを選択し ます。ポート (COM / LPT) に、新しい通信ポートが追加されているか確認しま す。



新しく追加された通信ポート(上記の例ではCOM2)のプロパティを調べます。 リソースのタグを開いて、他のデバイスとリソースの競合が起こっていなけれ ば正常です。

通信ホート (COM2)の7 ロバティ	? ×
情報 ホートの設定 ドライパ リソース	
逆信本 ¹ -ト (COM2) リソースの時間(R)	
(注定の室件名(4) 基本設定 0002 (注定の支更の). 戸 自動設定の	F
競合するデバイス:	
競合なし	×
ОК	和地

(2-2) PC-98 での Windows95 セットアップ

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC System, Inc.-REX5056V RS232C PC Card」 と表示されますが、問題ありません。

本 PC カードは、連続した 8 バイトの I/O アドレス空間と1本の割り込みラインのリソースを必要とします。下記システムプロパティの例は、PC-9821 Lavie/Nr15 のものです。この機種では、全ての割り込みラインが既に他のデバイスに割り当てられていますので本 PC カードをインストールする前に使用していないデバイスを無効にする必要があります。



m Windows95 OSR-2 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。 これに連動してデバイスドライバーウィザードが起動しドライバーのインスト ールをすることになりますが、ここではインストールすることができません。 取りあえず「次へ」を選択します。

F/N/(2, 1/5/1/) 9/9/-1/	このウィザートで、次のインストールができます。 RATOC System.IncREX5056V RS232C PC Card 最新のドライバをローカル ドライブ、ネットワークおよびインターネットから検
	最新しか イバンローがルド・アイン、キットワークのよし、インチーキットがついて このデバイスに付属のフロッビー ディスクまたは CD-ROM がある場合 は挿入してください。 更新されたドライバを自動的に検出することをお勧めします。 [次 へ] をツックすると自動検出が始まります。
	< 戻る(B) 【 次へ〉】 キャンセル

更に、「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」という結果が表示されますが、ここではインストールしませんので「完了」を選択します。

デバイストライバウィザード	
	このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。 ドライバを二こでインストームしない場合は、「完了」 さかられます。 自 分でドライルを検索する場合は、「爆発の指定」 を分かします。 自 動検索を始めるけは、「戻る」 を押してくたさい。
•	場所の指定(2)
	〈 戻る(四) 売了 キャンセル

【2】通信ドライバのインストール

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 その他のデバイスとして登録された「RATOC System, Inc.-REX5056V RS232C PC Card」のプロパティを表示します。

ንአታፈወን" ከእ"ታላ 🙎 😤
情報 デジパイス マネージャ ハートウェア環境 ハフォーマンス
 ● 種類別に表示(①) ○ 接続別に表示(②)
 → 12ビュータ ▶ POMCIA ソケット ▶ POMCIA ソケット ■ キャボート ■ 場 サウンド、ビデオ、およびケームのコントローラ ■ ジステム デバイス ■ ジステム デバイス ● ジ その他のテバイス ■ アOMCIA Card Services ■ Fi4Zク System, Inc-REX5056V RS2320 PC Card ■ ディスク ドライフ[*] ■ ディスク ドライフ[*] ■ ディスク エントローラ ■ フロッビー ディスク コントローラ ■ フロッビー ディスク コントローラ ■ ディト (COM & LPT) ■ マクス
7 [°] ロハ [°] ティ(<u>R</u>) 更新(<u>F</u>) 削除(<u>E</u>) 印刷(<u>N</u>)
OK ++751

ここから「ドライバの更新」を選択し通信ドライバを登録します。



デバイスドライバウィザードが起動したら、「**一覧からドライバを選ぶ**」を 指定し次へ進みます。



ドライバの一覧の中から「ポート(COM と LPT)」を選択し次へ進みます。



最後に、ハードウェアの製造元とモデルを選択します。ハードウェアの製造 元は「NEC」、モデルは「第2通信ポートサポート 115.2Kbps」を選択し完了し ます。

ハードウェアの数 ドライルがイリス 自動的に更新	遠元と時代を選び、「売了」 を外ったするとそのハードウ☆7用の更新された >−ルされます。 されたドライバを検出する場合は、「原型」を押してくびとさい。
数5型元候() NEC Corporation	モデ34000 フランタ ホート (PC-9801-94) 対称に進生ホート (PC-9801-101) 対称に進生ホート (PC-9801-101) 対称に進生ホート (PC-9801-101) 対称に進生ホート (PC-9801-101) 通生ホート サホート 115285ps 通生ホート サホート 115285ps 単生ホート サホート 1192006ps
	〈 戻る(2) 売了 キャンセル

【3】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムの中のデバイスマネージャタグを開きます。 ドライバのインストールが正常に行われると、その他のデバイスとして登録された REX5056V RS232C PC Card が削除され、ポート(COM と LPT)の中に「第2通信ポートサポート 115.2Kbps」が追加されます。



最後に、新しく追加された通信ポートのプロパティの中のリソースタグを開いて、他のデバイスとリソースが競合していないことを確認してください。

第2 通信ボート サボート 115.2Kbps (COM3)の7つハティ	? ×
情報 本-トの設定 ドライバ ダンース	
第 2 通信市"ト サ市"ト 115.2Kbpa (COM3)	
リソースの設定(8)	
 19年の党科名(2) 基本設定 0000 19年の支援(2). 19年前設定(2) 	-
競合するデバイス:	
騎合切 し	×
OK	和心也

■ Windows95 OSR-2 以前のバージョンでのインストール方法

【1】PC カードの挿入

カードを挿入すると、ハードウェアウィザードが起動します。「**一覧から選 ぶ**」を選択し次へ進みます。

新し、いードウェア ? ×	
RATOC System, hoREX0056V RS202C PC Card	
新ししいードウェア用にハストールするドライルを現択してください。	
C Wrytows (##0)/7/17(<u>%)</u>	
○ ハードウェアの製造元が提供するトライパ(型)	
(F) 一覧加ら運动空	
○下う(小芝作)以上は、)(2)	
OK 49700 167100	

インストールするハードウェア種類の中から「**ポート(COM / LPT)**」を選択し 次へ進みます。

ハートウェアの種類の選択
インストールするハートウェアの種類を選んでください:
キットワーク アタフラ ハード ディスク コントローラ
フリンタ フロナー ディスクコントローラ
ほかの検出されたデバイス マウス
マルチ ファンクシャン アダフ う モデム モニター
OK 44726

最後に、デバイスを選択します。モデルは「第2通信ポート 115.2Kbps サポ ート」を選択し完了します。

	デバイスの選択
	ホトドウェアと一致するギート 0000 / LPTD を汚っうして、[0K] を押してください。 ひていかうないときは、[0K] を押してください。このデがイルのイルトル ディスクをお持ちの場合は、[ディスク使用] を押してください。
	មាលៈ
	2"ソンク \$"-ト PC-9801-94
	第5-2 1世語を一下 115.202pg 74 下 1回2041-1
	速信节"小 115/2Kbps 节节"小
插	通信書*~ト 19200bps 55*~ト
>++	at ablettoo
 	7 1X700HBVBV
	0K ##Jtdl

PC/AT 標準の 8250 互換 シリアルコントローラをサ ポートしたドライバがセッ トアップされます。

【2】インストール内容の確認

コントロールパネルのシステムを開き、デバイスマネージャのタグを選択し ます。ポート(COM / LPT)に、「第2通信ポート115.2Kbps サポート」が追加され ているか確認します。



新しく追加された「第2通信ポート115.2Kbps サポート」(上記の例ではCOM2) のプロパティを調べます。リソースのタグを開いて、他のデバイスとリソース の競合が起こっていなければ正常です。

第2 通信ボート1152Kbps サポート (COM2)の710パティ	? ×
情報 本ートの設定 ドライパ リソース	
第2 通信本"-ト 1152Kbps ザボ"-ト (COM2) リソースの設定(E):	
<u>リソースの種類</u> 100 末一トアドルス 1FQ 06	
(注定の並用:名(2). 基本設定 0005	2
(注定の支担の). マ自動設定の	
輪合するデバイス:	
静合なし	×
OK **/	ti

(2-3) Windows98 セットアップ

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC System, Inc.-REX5056V RS232C PC Card」 と表示されますが、問題ありません。

m Windows98 でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、ハードウェ アウィザードが起動し右 のデバイスドライバーウ ィザードのインストール が表示されます。ここで は、「次へ」を押します。



ドライバの検索方法は 「**特定の場所にあるすべ** てのドライバの一覧を作 成し、インストールする ドライバを選択する。」 を選択し、「次へ」を押 します。



デバイスの種類は「**ポ** ート(COM / LPT)」を選択 し、「次へ」を押します。

新しんマハードウェアの適加ウィザー	F
	下の一覧からデバイスの種類を選び、じかへ」をクリックしてください。
	ネットワーク アダフタ ハード ディスク エントローラ ヒューマン インターフェイス デバイス プロッピー ディスク エントローラ パード マンパン クローク
*	はかしを出たれたテアバイス マウス マウムチアシングバタン アダプタ メモリ テクノロジードライバ (MTD)
	〈戻る田〉 次へ〉 キャンセル

【2】ドライバーファイル場所の指定

モデルの選択では PC-AT 互換機 (NEC PC-98NX シリーズを含む)の場合と、 NEC PC-9821 シリーズの場合で選択内容が異なりますのでご注意願います。

PC-AT の場合 製造元に「**(標準ポー** ト)」、モデルに「通信ポ ート」を選択し、次へ進 みます。

新し、マリードウェアの過加ウィザード
・ パードウェアの製造売とモデルを選択してください。ディスケン運転されたドライバがある場合 は、「ジィスカの使用しをグリックします。更新されたドライバをインストールすなごは、したべしをク リックしてください。
製造造元(型): 学校(第二十): AWA B.U.G. Herviett Packard Maeic Control Technology Corp. NEO
ディスク使用0.9。
く戻る(型) 次へ > キャンセル

NEC PC-98 の場合 製造元に「NEC」、モデ ルに「第2通信ポートサ ポート 115.2Kbps」を選 択し、次へ進みます。

新しんマハードウェアの過去のケイザード		
了的影響動	デルを確認して(をおい、ディスクに更新されたドラ リックします。更新されたドライバモインストールする	いいできた。 なは、したべてきり
數(還元·(M):	毛デル(Q):	
AWA B.U.G. Media Intelligent Corp. MIDORI ELECTRONICS	プリンタボート (8bit Parallel Interface) プリンタボート (PC-9801-94) 松果通信ボート (PC-9801-101) 松果通信ボート (PC-9801-101) 松果通信ボート (PC-9861K) 第二番目になったりまた。 通信ボート 通信ボート サポート 1152%bps	A
	70	スク使用化し
	〈戻る④〉 次へ〉	和记忆儿

ドライバ更新の警告メ ッセージに対しては、 「**はい**」を押して次に進 みます。

15-01 更新加量等

インストール準備が完 了したら、「**次へ**」を押 します。

••• *** C01-21/WIEHC#30:	and train
新しまい」ードウェアの通知ウィザード	
	x0デバイス用のドライバ ファイルを検索します。: 通信ボート
	のデバイス用に選択したドライバタインストールする単連邦できまし、

へ」を列っクすると病行します。

〇〇 このドライノは、潮波したリードウェア用に設計されていない可能性があり、インストールしても正しん動作しない場合があり

Pライバのある場例: CIWMINRESEVINFVMSPORTS.INF

< 戻る(B) (次へ) キャンセル

インストール完了が表 示されたら、「**完了**」を押 してハードウェアウィザ ードを終了します。



【3】PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動し、デバイスマネージャを選択します。 カードの設定が正常に行われていれば、コンピュータのレジストリツリー「ポ ート(COM/LPT)」の下に「通信ポート(COM2)」が登録されます。「通信ポート (COM1)」は、使用したパソコン本体の標準 COM ポートになります。COM ポート が無いパソコンの場合、REX-5057V は COM1 として追加されますのでご注意願い ます。

プロパティのリソースタグを選択して I/O ポートアドレスおよび IRQ の割り 当てで競合していないことを確認してください。

画面では、「COM2」となっておりますが、お客様の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。(確認方法は、Page2-20 をご参照ください)

	通信ボート (COM2)のプロパティ	? ×
シュティーのプロパティ	金駿 ポートの設定 ドライバ リソース	
全般 デバイスマネージャ ハードウェア ブロファイル	了 IBIE#-1- (COM2)	
○ 種類的に表示① ○ 相続的にお	▶ 自動設定を使う100	
ヨンピュータ 第一級 CD-ROM	茲(:する)()定(目) 基本設定 0001	×
由 🍫 PCMCIA socket 由 423 キーボード	リソースの種類 設定 1/0 cm Mail 0258 - 0255	
B	割込み要求 03	
田一里 ディスプレイ アダプタ 田・町 ネットワーク アダプタ	EXercite State (23)	-
日日 ハードティスクエントローラ 日日 フロッピー ディスクエントローラ	1000000000000000000000000000000000000	
B9 オート (COM / LPT) 9 ブリンタオート (LPT1)	時合はありません。	*
- 3 3mlt/m-F (COM7) - 3 通信ポート (COM2)		
#-20 43Y	1	
	OK	キャンセル
	OK キャンセル	

(2-4) WindowsMe セットアップ

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC System, Inc.-REX5056V RS232C PC Card」 と表示されますが、問題ありません。

WindowsMe でのインストール方法

【1】PC カードの挿入

PC カードをスロットに 挿入すると、新しいハー ドウェアの追加ウィザー ドが起動し、右のデバイ スドライバーウィザード のインストールが表示さ れます。

ここでは「**ドライバの** 場所を指定する(詳しい 知識のある方向け)」を 選択し、「次へ」を押し ます。

ドライバの検索方法は 「特定の場所にあるすべ てのドライバの一覧を表 示し、インストールする ドライバを選択する」を 選択し、「次へ」を押し ます。





デバイスの種類から 「**ポート(COMとLPT)**」を 選択し、「次へ」を押し ます。



【2】ドライバーファイル場所の指定

モデルの選択では、 製造元:「**(標準ポート)**」 モデル:「**通信ポート**」 を選択し、「次へ」を押 します。

新しよいハードウェアの遺物ウィザード	
プロードウェアの製造たとモデル 「ディスなの使用」をクリックしてく りっかしてください。	は撮影してください。ディスクに更新されたドライバがある場合は、 ださい。更新されたドライバモインストールするには、したへ」をク
製造元型: モ PETER#モト DBC Herviett Packard EM SMART Modular Technologies Socket Communications	デル(Q)) CP プリンタポート リンタポート SMR第一下
	ディスク使用他。
	〈 戻が徂〉 (次へ 〉 キャンセル

ドライバ更新の警告メ FOR INDEX ッセージに対しては、 「はい」を押して次に進 みます。



デバイス用のドライバ ファイルの検索:で、右図 のように表示されますの で「**次へ**」を押します。

新してマリードウェアの遺物ウィザート	
	デバイス用のドライバ、ファイルの検索: 逮信ポート このデバイス用に変化したドライバをインストールする準備ができまし、 た。客のドライバを提択する場合は、(読る) もクリックしてください。続け 率には、したべ」をアリックしてください。 ドライバのある場所: CWMINDOWSWINFWMSPORTS_INF
	〈 戻る(目〉 () 次へ >) キャンセル



【3】PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動し、デバイスマネージャを選択します。 カードの設定が正常に行われていれば、コンピュータのレジストリツリー「ポ ート(COM/LPT)」の下に「通信ポート(COM x)」が登録されます。

プロパティのリソースタグを選択して I/O ポートアドレスおよび IRQ の割り 当てで競合していないことを確認してください。

画面では、「COM1」となっておりますが、お客様の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。(確認方法は、Page2-20 をご参照ください)

	通信ボート (COM1X0プロバティ	? ×
	全般 ポートの原定 ドライバ リソース	
	😁 通信ボート (COMI)	
システムのプロパティ	7	
全般 デバイスマネージャ ハードウェア プロファイル パフォ	▶ 直動設定(1)	
0.0000000000000000000000000000000000000	参本(学る研究型) 基本設定 0000	7
○ 種類的に表示① ○ 補税的に表示②	リソースの種類 設定	
	1/0 ())時日 03F8 - 03FF	
E-S PCMCIA ソケット	all	
E SCSI II/I 0 −7	「お本の水平(2)」	
日本語 サウンド ビデオ およびゲームのエントローラ		
□ □ □ システム デバイス	無容するデアバス: 肺炎は来れません。	-
由-回 ディスクドライブ		-
日一日 ティスフレイ アタフタ		× 1
日 一日 ハード ディスクコントローラ		
田一〇 フロッピー ディスク コントローラ ロージ ポート (COM と LPT)	OK *	かっせい
□ J 通信求~下 (COM1)		
Acta C = 0	_	
プロパティ(R) 更新(F) 前除(E)) EDB(00_]	
	OK キャンセル	

(2-5) アンインストール方法

まず、現在ご使用されている REX-5057V がどの COM x ポート(x=数字)に割当 てられているか確認します。

Windows 起動画面の右下の「PC カード(PCMCIA)の状態」アイコンをダブルク リックします。(以下の画面参照)



コントロールパネルのシステムを起動します。「システムのプロパティ」の デバイスマネージャタグを選択し、その一覧より、ポート(COM / LPT)の 上記で確認した通信ポート(ここでは COM2)を選択し、「**削除**」ボタンを押し ます。デバイス削除の確認で「**OK**」ボタンをします。(以下の画面参照)



以上で、アンインストール完了ですので、パソコンを再起動してください。

上記は、Windows98の画面で解説しておりますので、Windows95/Me では若干表示 部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細はWindowsのマニュアルをご参照願います)

(2-6) Visual C/C++サンプルプログラム

Win32 通信 API を使った通信サンプルプログラム Win32Com.c が、製品添付 FD にありますので参考にしてください。

サンプルプログラムを動かす為には2台のパソコンを用意しRS422/485クロスケー ブルで接続します。一方のパソコンで本サンプルプログラムを、他方のパソコンでは、 本プログラムもしくはハイパーターミナルといった通信ソフトを起動し通信を行います。

サンプルプログラムは内容が複雑にならないように、単純に指定の ASCII 文字列を 送信し、受信イベントが発生したらデータを取り込んで表示するというものです。

▶ サンプルプログラム画面	┣┣ Win32通信ブ	ログラムサンプル	
	送信データ		終了
		123ABC	テ~タ送信
	受信产物	A	受信開始

▶ サンプルプログラム抜粋

```
LRESULT CALLBACK WndProc(HWND hWnd, UINT uMessage, WPARAM wParam, LPARAM IParam)
{
    switch (uMessage)
   {
        case WM_CREATE :
            /* COM1 ポートオープン */
            hCom1 = CreateFile( lpszCom1Name,
                                                            /* シリアルポート論理名 */
                                GENERIC_READ|GENERIC_WRITE, /* リードライト可 */
                                                             /* デバイス共有不可 */
                                0,
                                NULL,
                                OPEN_EXISTING,
                                0, NULL);
            if ( hCom1 == INVALID_HANDLE_VALUE) {
                /* ハント・ルエラー */
                MessageBox( NULL, "COM1 オープ ンエラー", MsgTitle, MB_OK );
                return FALSE;
            }
            /* 現在の設定情報取得 */
            lrc = sizeof( COMMCONFIG );
            GetCommConfig( hCom1, &cc, &lrc );
            /* 通信パラメータ設定ダイアログ表示 */
            if ( !CommConfigDialog( lpszCom1Name, hWnd, &cc) )
                break;
            /* 新たに通信パラメータを設定する */
            if ( !SetCommState( hCom1, &cc.dcb) )
            return TRUE ;
/* 次頁に続く */
```

```
case WM_COMMAND:
            switch( wParam )
          {
            case IDB_TXDATA:
                /* 送信データ取得 */
                memset( TxBuf, 0x00, sizeof( TxBuf ) );
                GetDlgltemText( hWnd, IDE TXDATA, TxBuf, sizeof(TxBuf) );
                SetDIgItemText( hWnd, IDS_TXDATA, TxBuf );
                SetDIgItemText( hWnd, IDE_TXDATA, "" );
                nToWrite = strlen(TxBuf);
                /* RS485の場合は RTS, DTR をわにして、通常自分が送信したデータ
                       を自分で受けて送信したデータが正しいか確認します */
                EscapeCommFunction(hCom1,SETRTS); /* 受信イネーブル */
                EscapeCommFunction(hCom1,SETDTR); /* 送信イネーブル */
                /* COM ポートにデータ送信 */
                if ( !WriteFile( hCom1, TxBuf, nToWrite, &nActualWrite, NULL))
                    MessageBox( NULL, "送信Iラ-", MsgTitle, MB_OK ); /* 送信Iラ-*/
                break;
            case IDB_RXDATA:
                /* 受信スレッドを作成します */
                fReadThread = TRUE;
                hThread = CreateThread( NULL,
                            0.
                            (LPTHREAD_START_ROUTINE)ReadThread,
                                                             /* スレッドに渡すパラメータ */
                            hWnd,
                            0,
                            &ThreadId);
                if ( hThread == INVALID_HANDLE_VALUE) {
                    MessageBox( NULL, "受信ルット クリエートエラー", MsgTitle, MB_OK );
                }
                break;
            case IDCANCEL:
                /* 受信ルッドを終了する */
                fReadThread = FALSE;
                /* COM1 x° - トクロース */
                CloseHandle( hCom1 );
                PostQuitMessage( 0 );
                break;
            default:
                return DefWindowProc(hWnd, uMessage, wParam, IParam);
          3
          break;
       case WM_DESTROY:
            /* 受信スレッドを終了する */
            fReadThread = FALSE;
            CloseHandle( hCom1 );
          PostQuitMessage(0);
          break;
       default:
          return DefWindowProc(hWnd, uMessage, wParam, IParam);
   }
   return 0;
}
/* 次頁に続く */
```

```
Page.2-23
```

```
DWORD ReadThread( HWND hWnd )
{
   BYTE
           RxBuf[256];
   DWORD
           nBytesRead, dwEvent, dwError;
   COMSTAT cs;
   LONG
           lrc;
   /* バイトデー9受信時 WaitCommEvent()に対しイベントを発生する */
   SetCommMask( hCom1, EV_RXCHAR );
   /* バイト受信イベントを待って受信データを取り出し格納 */
   while( fReadThread )
   {
        /* イベントを待つ */
       if (WaitCommEvent(hCom1, &dwEvent, NULL))
       {
            /* 有効データを全て読み出す */
           ClearCommError( hCom1, &dwError, &cs );
            if ( ( dwEvent & EV_RXCHAR ) && cs.cblnQue )
            {
                if ( !ReadFile( hCom1, RxBuf, cs.cblnQue, &nBytesRead, NULL ) )
               {
                   MessageBox( NULL, "通信Iラ-", MsgTitle, MB_OK ); /* 受信Iラ-*/
               }
               else
                {
                    /* 受信データ表示 */
                   SetDIgItemText( hWnd, IDS_RXDATA, RxBuf );
               }
           }
       }
       else
        {
           MessageBox( NULL, "通信Iラ-", MsgTitle, MB_OK );
       }
   }
   /* 受信バッファのデータをクリアする */
   PurgeComm( hCom1, PURGE_RXCLEAR );
   return OL;
}
```

(空白ページ)

第3章 Windows2000/XPセットアップ

この章ではWindows2000およびWindowsXPでのREX-5057Vセットアップについて解説しております。

(3-1) Windows2000 セットアップ

m Windows2000 でのインストール方法

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC_System_Inc. REX5056V_RS232C_PC_Card」 と表示されますが、問題ありません。

PC カードを挿入すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、 インストールが開始しますので、以下の手順でインストールを行って下さい。

「新しいハードウェアの検 索ウィザードの開始」で 「次へ(<u>N</u>)>」ボタンを押し ます。



「ハードウェアの種類」の 一覧より「**ポート(COM と** LPT)」を選択し「次へ(<u>N</u>)」 ボタンを押します。



×

「デバイスドライバの選 択」では、 製造元(<u>M</u>)「**(標準ポート)**」 モデル(<u>D</u>)「通信ポート」 を選択し「次へ(<u>N</u>)」ボタ ンを押します。

リレレットドウェアの検出ウィザード	
プバイス ドライバの選択 このデバイスには、どのドライバも	HUAH-ALANY
3 1.200	教子シモデルを選択して Dさへ】をクリックしてください。インストールするドライバのデ ク使用日をクリックしてください。
製活記元後) (記録:北一心) Compag GSM Radio Cerd Ericsson GC25 203 Trans Digital Corporation	モデルロク ECP フリンタボート フリンタボート バーウェン 5021281 フリンタボート バーウェン 5021851 (1999/12/07) マルチボート通信ボート
	ディスク使用20-
	< 開設(図) (法へ(図)) キャンセル

ドライバの更新警告が表 示されますが、続行するた め「**はい(<u>Y</u>)」**ボタンを押 してください。 ドライバの更新書

「デバイスドライバのイ ンストールの開始」で「通 信ポート」が表示されます ので、「次へ(<u>N</u>)」ボタ ンを押します。



「新しいハードウェアの 検索ウィザードの完了」で 「通信ポート」が表示され ます。 「**完了**」ボタンを押してく ださい。



< 戻る(部) (次へ(部)) キャンゼル

以上で REX-5057V のインストールは終了です。

(3-2) WindowsXP セットアップ

WindowsXP でのインストール方法

ハードウェア・ウィザードでは、「RATOC_System_Inc. REX5056V_RS232C_PC_Card」 と表示されますが、問題ありません。

PC カードを挿入すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動しま すので、以下の手順でインストールを行って下さい。

右図画面でデバイス名に、 「RATOC_System_Inc. REX 5056V_RS232C_PC_Card」と 正しく表示されているか確 認してください。 次に、インストール方法の選 択で、「一覧または特定の場 所からインストールする(詳 細)(<u>S</u>)」にチェックを入れ て、「次へ(<u>N</u>)>」ボタンを 押します。

インストールオプションの 選択では、「検索しないで、 インストールするドライバ を選択する(<u>D</u>)」にチェック を入れて、「次へ(<u>N</u>)>」ボ タンを押します。

「ハードウェアの種類」の 一覧より「**ポート(COM と** LPT)」を選択し「次へ(<u>N</u>)」 ボタンを押します。







「デバイスドライバの選 択」では、 製造元「**(標準ポート)**」 モデル「**通信ポート**」を選 択し「**次へ**(<u>N</u>)」ボタンを 押します。

新しいハードウェアの検出ウィザ	-P		
このハードウェアのためにインス	トールオ	なずバイス ドライバを選択してください。	S.
J 155925 76128	制造売込 イスク切り	モデルを確認してしたへ」を対いうしてください。イン 町 を2015らしてください。	/ストール#&F54/50F
Nillitz Brother Chase Research Plc. Compac GSM Fladio Card Control Corporation	×	モジル 写けCP ブリンタボート 写フリンタボート 同マルチボート通信ボート 受け通信ボート	×
➡ 20F94/12F936署名8 F94/50署名作业書が目出	nti de	*. (夏5/日) (法へ195)	ディスク使用型- - キャンセル

ドライバの更新警告が表 示されますが、続行するた め「はい(Y)」ボタンを押 してください。

「新しいハードウェアの 検索ウィザードの完了」で 「通信ポート」が表示され ます。

「**完了**」ボタンを押してく ださい。





以上で REX-5057V のインストールは終了です。

(3-3) 通信ポート番号の確認

Windows2000/XP で、PC スロットの状態を確認するには以下の手順で行って ください。

デスクトップ起動画面の右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」 アイコンをダブルクリックします。(以下の図参照)

jj 🕹 般 😫 💕 🗟 🞾 🛤
() ()()() ()
ダブルクリック

以下の画面が表示されますので、「ハードウェアデバイス(<u>H</u>)」の「通信ポ ート(COMx)」を確認してください。

	ショハードウェアの取り外し	<u>7 ×</u>
	取り外すデバイスを爆択して〔P中止〕をクリックしてください。取り外しの安全が確認さ らエンビュータがらデバイスを取り外してください。	nt
	ハードウェア デバイス(H):	
現在、通信ホート(COM3)	、 通信ボート (COM3) - PCCard スロット 0	
に割当てられています。	(伊止じ) (伊止じ)	
	F デバイスコンボーネントを表示する(2) F タスクパーに (取り外し) アイコンを表示する(2) 開じる(2)	

パソコン機種によって、COMx ポート(x=数字)の「×」が異なります。通常、 空いている順番に 1,2・・・に割り当てられますが、最近のパソコンでは、標準で 赤外線通信ポートや内臓モデムなどを実装しているため通信ポートを使用する ものが多くなっており、弊社 REX-5057V を導入した場合に COM5 または COM6 と 表示されることがありますが、リソースの競合が起こっていなければ、基本的 に問題はありません。

上記は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細は Windows のマニュアルをご参照下さい。)

(3-4) PC カード設定内容の確認

コントロールパネルのシステムを起動します。「システムのプロパティ」 の「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ(<u>D</u>)」ボタンを押します。 「ポート(COM と LPT)」をクリックして新しくポートが追加されているのを 確認して下さい。

また、通信ポートの「プロパティ」でリソースが正しく割当てられている かを確認して下さい。デバイスの競合が発生した場合は「自動設定(U)」の チェックを外し、競合が起こらない値に設定を変更して下さい。



上図は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。 (詳細はWindowsのマニュアルをご参照下さい。)

(3-5) COM ポート番号の変更

「通信ポート」の COM ポート番号を他の番号に割り当てる場合、変更する通信 ポートのプロパティを開き、「ポートの設定」タブの「詳細(<u>A</u>)」を選択して下さい。 詳細設定画面が起動しますので、画面下の「COMポート番号(<u>P</u>)」で新しく設定す る番号を選択して下さい。(使用中)の COM 番号には設定しないで下さい。 下図では、COM2に割当てられている本体ポートを DISABLE にし、REX-5057V を COM2に割当てています。

	1913	#-1-100M38007	UV17F⊀		1
	*	敷 ポートの設定	[F9475] 99-3.]		
			ピットノも国	9600	
NG 也許補助定		<u>t x</u>	ም-ቃ ይቃኮመ	k 8	*
- FF01/07%を使用する 0.6550 互換の UWRT が必要のU			パリティビ	k [tal.	•
種類エラーを修正するには、設定を小さくしてください。		440,454	ストップ ビット(5)	1	*
パフォーマンスを上げるには、設定を大水してください。		秋を後位	7日-制師(2)	: J&L	۲
en/67/8/ m 0	高110 010				050 (mil = 100 mil 050
新知(6.7×① 解:0)】	ត្តពល ពល			+++B/Q/	AETBIC/R 9 (Q)
61 ポート番号(2): 00M2 王					
	_			OK	*ャンセル
\prec					
\checkmark					
51/17 23-34					
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)					
8 2 DVD/CD-ROM 19/17					
※ 型 IDE ATA/ATAPI エルトローラ ※ ● PCMCIA アダブタ					
🐵 🏘 USB (Universal Serial Bus) _:/-9					
 ※ 4篇 キーホード ※ ■ ゴンピュータ 					
● 🥂 サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ					
◎ ● システム ティソカス ● ● ライスク ドライブ					
E = 74271-17979		CO	M2 に変更		
※ 戦 ネットワーク ドタフタ ※ (3) フロッピー ディスク エノトローラ					
8 😅 フロッピー ディスクドライブ					
B-3 ポート COM と LPTD 					
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
ー ダ <u>は日本ート CON2</u> 第二次 マウストそのほかの赤くノホング ずじくス					
8 📮 E_9					

上図は、Windows2000の画面で解説しておりますので、WindowsXPでは若干表 示部分等が異なりますが基本的な操作は同じです。

(詳細は Windows のマニュアルをご参照下さい。)

Page.3-8

(3-6) アンインストール方法

m Windows2000 でのアンインストール方法

コントロールパネルの システムを起動し、「ハー ドウェア」タブを選択しま す。

「ハードウェアウィザ ード(<u>H</u>)…」ボタンを押し てください。

システムのプロバティ	<u>r</u> ×
全統 ネットワーク 10 八一ドウェア ユーザー ブロファイル 詳細	
- N= MART Artf= K	
ハードウェアウィザードを使って、ハードウェアのインストール、アンインストー ル、形理に、原語、用的外し、および設定ができます。	
<u> ハードウェア ウィザード低。</u>	
デバイス マネージャー	5
デバイスマネージャは、コンピュータにインストールされているオペアのハード ウエア デリバイスを表示します。デリバスマネージャを使って、音デリバスのフ ロバワイを実更できます。	
ドライバの署名(3). デバイスマネージャ(1).	
ハードウェア プロファイル ハードウェア プロファイルを使うと、影响ハードウェアの構成を設定し、核納 することができます。	1
ハードウェア プロファイル(ビ).	
OK	

「ハードウェアの追加 と削除ウィザードの開始」 を行いますので、 「**次へ(<u>N</u>)」**ボタンを押 します。



「ハードウェアに関す る作業の選択」で、「**デバ** イスの削除/取り外し (<u>U</u>)」にチェックをいれ、 「次へ(<u>N</u>)」ボタンを押 します。



「削除操作の選択」で、 「**デバイスの削除(U)**」に チェックをいれ、 「次へ(N)」ボタンを押 します。



「このコンピュータに インストールされている デバイス」で、一覧が表示 されますので「**通信ポート** (COMx)」を選択し、 「次へ(<u>N</u>)」ボタンを押 します。

画面では、「COM3」となっておりますが、お客様の環境により COMx の x の数字が異なりますのでご注意ください。
 (確認方法は、Page.3-5 を

(確認力法は、Page.3-5 で ご参照ください)

ウェアの追加と影飾ウィザード			
8コンピュータにインストールされているデバイス 次のハードウェアがこのコンピュータにインストールされ	いています。		Ŵ
教師するテリティスを運転してください。			
7/9/2			
Ivtel 82443LX/EX Pentium/i) I Processo	r to AGP Controller		
G 7217J DE 797.0			
2000/00 DE 99440 2000/00 DE 99440			_
■ エノノールのため自会調査に示す ドライバ			_
■ 論理ディスクマネージャ			-
□ 東東王のデバイスの東王の5			
	(東2/8)	法へ聞う	***>#%

「デバイスの削除」で、 通信ポート(COMx)を確認 後、「はい、このデバイス を削除します(Y)」をチェ ックし、 「次へ(N)」ボタンを押 します。



「ハードウェアの追加 と削除ウィザードの完了」 で、「選択されたデバイス は正常に削除されまし た。」と表示されますので、 「完了」ボタンを押してく ださい。



以上で、REX-5057Vのアンインストールは完了です。REX-5057Vをスロット より抜きます。

再度、インストールされる場合はパソコンを再起動後、Page.3-1の Windows2000 でのインストール方法をご参照ください。 WindowsXP でのアンインストール方法

カードをスロットに挿入し、まず、現在ご使用されている REX-5057V がどの COMx ポート(x=数字)に割当てられているか確認します。

確認方法は Page.3-5 を参照してください。

次に、コントロールパネルのシステムを起動します。「ハードウェア」タブから「デバイスマネージャ」ボタンを押すと、デバイスマネージャが起動されます。一覧のポート(COM と LPT)より上記で確認した通信ポート(ここでは COM3)を選択し、メニューの「操作(A)」 「削除(U)」を選択します。デバイス削除の確認で「OK」ボタンをします。(以下の画面参照)



以上で、REX-5057V のアンインストールは完了です。REX-5057V をスロ ットより抜きます。

再度、インストールされる場合はパソコンを再起動後、Page.3-3の WindowsXPでのインストール方法をご参照ください。 (空白ページ)

第4章 WindowsNT4.0について

WindowsNT4.0 ではPCカードのPlug&Play 機能がサポートされていませんのでカー ドリソース(I/O アドレス、IRQ 番号)の自動割当てが行われません。そのため、シス テムのリソースの空き状況によっては REX-5057V を使用できないことがあります。 赤外線ポート、内蔵モデムが搭載されているパソコンでは、使用しているしていな いに関係なく COM ポートのリソースは専有されています。使用されていない場合 は、BIOS 設定で Disable にすることにより、COM ポートのリソースを解放し、 REX-5057V で利用可能にすることができます。解放したリソースを REX-5057V に 割当てることができない場合は、別売りの CardWare が必要になりますのでご確認 願います。

Plug&Play 機能を追加するには...

別売り CardWare の「RSD-CBNT40」をインストールすることで WindowsNT4.0 に Plug&Play 機能を追加することが可能です。

注)RSD-CBNT40 には対応 PC がありますのでご購入前にご確認ください。 CardWare についてのお問い合せ先 サポートセンター: (TEL.06-6633-6766)

△ 注記 △

次ページの説明画面に関して、PC カードプロパティでデバイス名は「RATOC Systems,Inc. REX5056V RS232C PC Card」と表示されますが、問題ありませんので、ご注意下さい。

(4-1) WindowsNT4.0 での使用方法

REX-5057VをWindowsNT4.0で使用する場合、基本的にドライバのインストールは 必要ありません。REX-5057VをPCカードスロットに挿入してシステムを起動してく ださい。

【1】カード情報、リソースの確認

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「PC カード(PCMCIA)」を開き、下記 項目をご確認ください。

1. 「RATOC Systems, Inc. REX5056V RS232C PC Card」と認識されているか確認。

2. 「プロパティ」のカード情報タグでデバイスマップの COM 番号の割り当てを確認。(「利用不可」の場合は、【2】シリアルポートの追加を行ってください)。



【2】シリアルポートの追加

「コントロールパネル」→「シリアルポート」でシリアルポートの追加を行ってください。リソースの空きがない場合は新しいポートの追加ができない場合がありますのでご注意ください。

		シリアルフ	<u>k</u> ,		×
		≭°− Þ0	<u>P</u>):		キャンセル
			2: 1:	<u> </u>	設定(5)
新しい柿トの詳細設定			×		
00M ポートの番号(<u>©</u>):	2		OK		削除(<u>D</u>)
1/0 末"ート アト"ルス(<u>B</u>):	02F8	٠	キャンセル	v	<u>^⊮プ(H</u>)
割月込み番号 (IRQ)())	3	٣	N1/7"(H)		
FIFO を有効にする(E)					

発行 ラトックシステム株式会社2001 年 12 月 1 日 第 2.0 版 第 1 刷発行

● 製品に対するお問い合わせ

REX-5057V の技術的なご質問やご相談の窓口を用意しておりますのでご利用ください。





す。